

第65回 春季東北 高校野球

第4日



【八学光星―東北(宮城)―1回裏、東北1死一三塁、中村の二塁ゴロで伊藤(8)が二塁、二一の同点追いつく。捕手・松谷、投手・後藤(八学光星)

光星投手陣 力負け

県勢2校 決勝逃す

東北(宮城)に9失点

第65回春季東北地区高校野球大会は第4日の10日、青森市営球場で準決勝2試合を行った。弘前東(本県第2代表)は初回に3点を制したものの、聖光学院(福島県第1代表)

に三回以降、毎回得点を許し、4-11の八回コールドで大敗。東北(宮城県第1代表)と対戦した八学光星(本県第1代表)は17安打と相手を上回る安打放ったが、3本の本塁打を浴びるなど6-9で敗れ、県勢2校は準決勝で姿を消した。大会最終日の11日は、同球場で聖光学院―東北の決勝を行う。(本紙取材班)

▽準決勝(青森市営球場)
八学光星
2202 0020 011×9
3000 0320 01×9

東北
△後藤 伊賀、中村、福
山松谷
▽東 古川原、阿部真
▽本塁打 長南(△)杉澤3
(東)
▽二塁打 東松谷、吉田(△)
西田(東)

【評】八学光星は1点を追った三回、3番長南の2点本塁打で逆転したものの、投手陣が五回1死から東北打線に6連打を浴び、3点を奪われ再逆転を許した。八回には東北の1番杉澤にこの日3本目の本塁打を打たれ、突き放された。

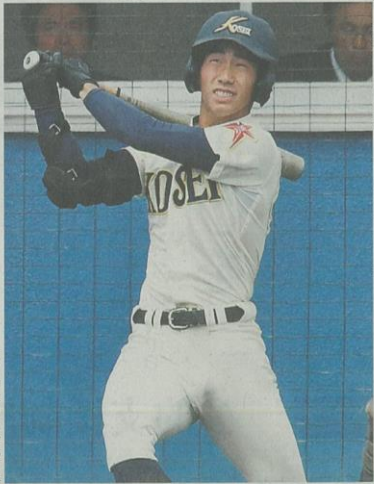
攻撃陣は17安打を放ちながら6得点にとどまり、11残塁と拙攻。チャンスを生かし切れなかった。

最終回の逆転を伺って八回裏にリリーフした八学光星の主戦福山は、東北の杉澤に打ち返された打球をほうぜん、見送り、マウンドに立戻った。投手4人が被安打14本、9失点。仲井監督は「課題は投手力(捕えられなかった)リズム

本番「夏」へ課題残す

焦 点

手の配球含め、陣のなは「何とか護りたい」ときなインバクトを残し、今年夏は100回の



3回表、八学光星1死二塁、長南がバックスクリーン直撃の2点本塁打を放ち、4-3と逆転

を崩し(四回途中まで)5失点(相手ベンチからの声の圧力で)こに投げれば、いかに分らない。女房役の松谷は「試合初、投手(ミズニ)はきつて、固かった投手陣に積極的に声をかけた(高松拓輝)